
700系リニューアル車両 723号車の運行を 2020年10月18日（日）から開始します

- ・同日より「723号車リニューアル記念乗車券」を発売
 - ・運行開始前日には車両展示撮影会&貸切運行を実施
-

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：豊田秀明）では、2018年より700系車両のリニューアルを進めておりますが、この度、723号車のリニューアル工事が完了し、10月18日（日）より運行を開始します。

主に1両編成で運用している700系車両は、当社で初めて冷房装置を搭載した車両で、1987年7月の運用開始から30年以上が経過したため、順次リニューアルを行っております。今回リニューアルした723号車は、青色を基調とし、水が豊かな山紫水明の地である京都・洛北の自然を表現しています。

リニューアル車両の運行開始を記念して、運行開始当日より「723号車リニューアル記念乗車券」を発売するほか、運行開始前日の10月17日（土）にはイベントとして、車両展示撮影会・鉄道グッズ販売会と貸切運行を実施します。

詳細は別紙のとおりです。



723号車リニューアルのイメージ

以上



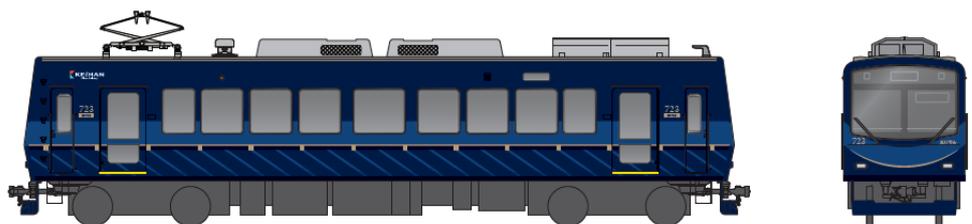
(別紙)

1. 車両番号 723号車(700系 デオ720形) 1両×1編成
2. 運行開始日 2020年10月18日(日)
修学院駅5時28分発出町柳駅ゆき(出町柳駅からの初列車は5時42分発八瀬比叡山口駅ゆき)の列車から運行を開始します。
なお、翌日以降のダイヤは未定です。

3. リニューアル内容

【外装デザイン】

723号車は、水が豊かで山紫水明の地である洛北の自然を表現し、「青」を基調としています。



【内装デザイン】

座席は水をイメージした「青」を基調とし、外装との統一感を出しているほか、京都らしさの演出として、座席の仕切り部には、京友禅の生地を硝子に封入した「京友禅硝子」を使用しています。(制作は、キモノ創りを手掛ける木村染匠株式会社によるものです。)



京友禅のデザインイメージ

【SDGsの取り組み】

SDGsの取り組みとして、車内の照明、前照灯及び尾灯、行先表示器にはLEDを採用することで省エネルギー化を図り、CO2削減を推進します。



4. 「723号車リニューアル記念乗車券」の発売

内 容	乗車駅から270円区間の乗車券（大人）1枚 乗車駅から380円区間の乗車券（大人）1枚
発売期間	2020年10月18日（日）6時～2021年3月31日（水）
通用期間	各乗車券とも発売期間内に1回限り
発売価格	1セット 650円
発 売 数	500セット限定
発売場所	出町柳駅 ※今後開催されるイベント会場等でも発売することがあります。
発売時間	初発～終発 ※2020年10月18日（日）は6時～終発
そ の 他	シリアルナンバーの指定はできません。 状況によりお1人さまあたりの発売数を制限する場合があります。 なくなり次第、発売を終了します。



「723号車リニューアル記念乗車券」のイメージ
(イラストの部分は写真となる予定です。)

5. 車両展示撮影会・鉄道グッズ販売会、貸切運行

デビューイベントとして、修学院車庫にて車両展示撮影会、鉄道グッズ販売会及び、撮影会参加者限定の貸切運行（修学院車庫～二軒茶屋駅／引上線折り返し～出町柳駅間）を事前申込制で株式会社京阪カードの企画として実施します。車両展示撮影会には、昨年リニューアルした722号車も並べ、一緒に撮影していただける予定です。

開 催 日 2020年10月17日（土）

開催時間 ①午前の部

9時45分 受付開始

10時00分 車両展示撮影会開始

10時30分 鉄道グッズ販売会開始

11時00分 貸切列車修学院車庫発車

11時39分 貸切列車出町柳駅到着、解散

②午後の部

13時45分 受付開始

14時00分 車両展示撮影会開始

14時30分 鉄道グッズ販売会開始



	15時00分 貸切列車修学院車庫発車
	15時39分 貸切列車出町柳駅到着、解散
集合場所	修学院車庫（修学院駅下車、徒歩約5分）
定員	各回につき30名
参加費	6,000円（税込）
申込方法	京阪カードの通販サイト e-kenet マーケット（URL： https://www.e-kenetmarket.net/ ）
申込期間	2020年9月19日（土）9時00分～10月11日（日）23時59分 ※定員に達した時点で、受付を終了いたします。
参加特典	「723号車リニューアル記念乗車券」「当日の乗務員用時刻表（スタッフ）レブリカ」各1セットを含むグッズ
企画	株式会社京阪カード（大阪府知事登録旅行業第2-2958号）

（参考）

・700系車両について

700系車両は、1987年にデビューした両運転台車で、叡山電車初の冷房車です。ワンマン運転用として設計され、主に1両編成で運行しています。細かな仕様の違いにより、デオ710形（2両）、デオ720形（4両）、デオ730形（2両）の3種類に分かれています。

運用を開始した当時は「クリームとマルーン」の塗装でしたが、2005年より順次デザインを変更し、「新緑をイメージした黄緑」「山をイメージした緑」「川をイメージした青」「紅葉をイメージした赤」の4種類の帯色の車両があります。

運用開始から30年以上が経過したため、732号車は2018年に観光列車「ひえい」へ、722号車は2019年に沿線の神社仏閣をイメージした「朱色」のカラーリングへリニューアルを行いました。



運用開始当時の塗装（左）とデザイン変更後の塗装（右）



732号車 観光列車「ひえい」



2019年にリニューアルした722号車



リニューアルした722号車の内装



- ・木村染匠株式会社について

木村染匠株式会社は、染匠に従事して75年余り、京友禅の伝統的なキモノづくりを受け継いできました。

世界に誇れる素晴らしい京友禅の文様・技術が着るキモノだけではもったいない、「着るキモノから、観るキモノへ。」というコンセプトのもと、キモノ地を硝子に封入した「京友禅硝子」を開発し、日本の伝統美をインテリアとして演出しています。

